

市長公室 令和4年度 局運営方針（案）

1. 主な現状と課題

市民意識が成熟し、市民の行政ニーズが複雑・多様化する中では、情報発信・受信による市民との良好な関係づくりが重要性を増しています。特に感染症の流行下等、社会不安が大きい状況では、その重要性は一層高まります。

このような状況において、市政に対する市民の信頼感・共有感を高めるためには、効果的な市政情報の発信と的確な市民ニーズの把握が必要となります。

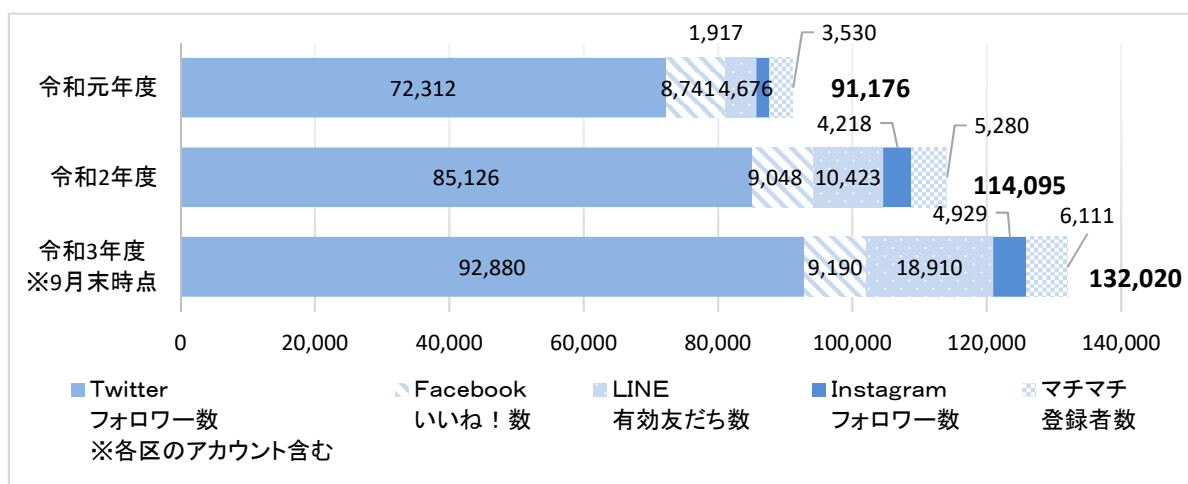
また、将来の人口減少を見据え、本市が持続可能な都市づくりを進めるためには、市内外に対して市への愛着醸成を図る取組を進めることで、市民の定住意向を形成するとともに、市外からの訪問・交流人口の増加や転入を促進することが課題となっています。

（1）市への信頼感・共有感の向上を図る情報発信

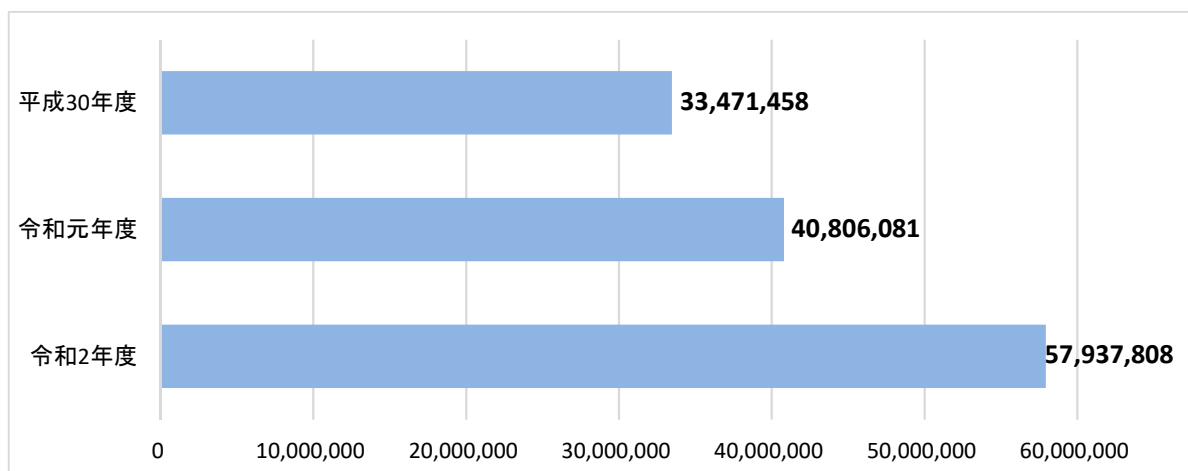
市への信頼感・共有感を向上させるためには、市民に分かりやすく、効果的に情報を伝えるとともに、市の情報への関心・共感を高めていく必要があります。

また、自然災害や新型コロナウイルス感染症等の緊急情報が増加する中、市民が必要とする情報を迅速かつ確実に伝えることが、ますます重要になっています。

情報発信媒体（SNS）の登録者数の推移



さいたま市ホームページアクセス数の推移



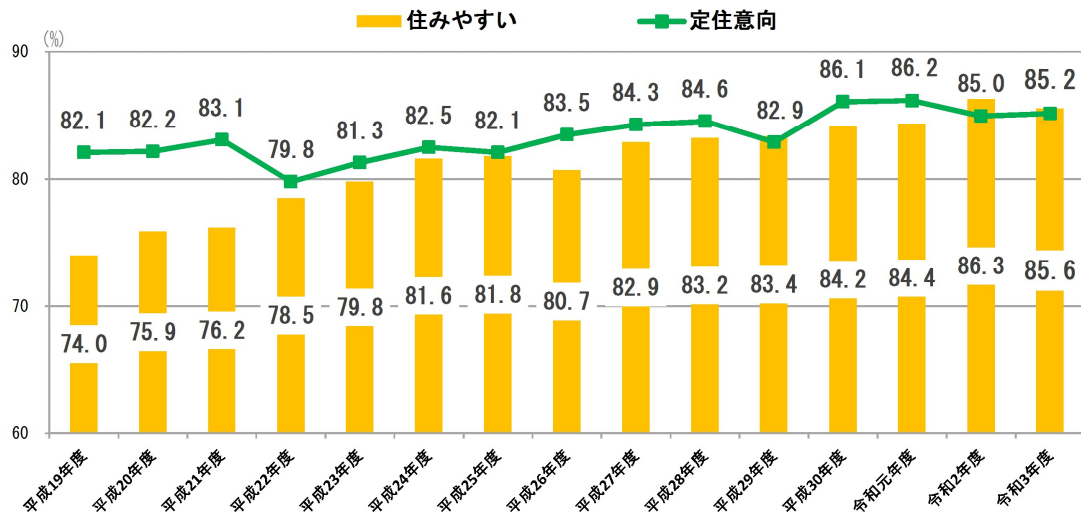
※さいたま市公式ホームページ (<https://www.city.saitama.jp/>) 配下のページ

(2) 市民ニーズの把握

市民と市との間で情報や問題意識を共有し、市政に対する市民の信頼感を醸成するためには、多様化する市民ニーズを的確にとらえる必要があります。

令和3年度の市民意識調査における市民から見た「住みやすさ」は85.6%、「定住意向」は85.2%と、ともに8割半ばで、高い水準を維持しています。

[住みやすさと定住意向の推移]



* 平成19年～令和3年度実施「さいたま市民意識調査」（さいたま市民が対象）

また、市民ニーズを的確にとらえるためには、必要な時には市政に対する意見を言える機会があることが広く市民に認知されている必要があります。

(3) 市民の声の集約

市長への提案制度「わたしの提案」をはじめ様々な機会を通じ、市民の声が寄せられており、これらを効果的に集約し、庁内に情報提供していく必要があります。

令和2年度に寄せられた市民の声

事業名	件数
わたしの提案	3,747件
陳情・要望等	346件
子どもの提案	1,266件
タウンミーティング	203件
所管課受付対応	1,051件
合計	6,613件

(4) 都市イメージの向上と市民の地域への愛着醸成

さいたま市は市内外から居住生活環境が評価されるなど、選ばれるまちへと成長・発展しています。しかし、令和12年頃をピークに人口減少に転じると予測されていることから、人口減少に転じる時期を先延ばしし、かつ減少を緩やかにしながら、将来にわたって活力ある都市を維持していくことが重要です。

そのためには、環境、健康・スポーツ、教育での強みや交通の要衝等の地理的優位性、特色ある地域文化資源等を生かし、将来都市像に向けた都市イメージの向上を図ることができるよう、市の強みや優位性を魅力と捉えて市民を巻き込み市内外へ発信する必要があります。また、引き続き選ばれるまちとして持続的に成長・発展するとともに、さらに住み続けたいまちへと進化するために、市民等の地域への愛着醸成を図る必要があります。

2. 基本方針・区分別主要事業

市長・副市長のトップマネジメントをサポートします。

市民に分かりやすく、効果的に情報を伝えることで、施策や事業に対する市民の関心・共感を高めめます。

広く市民の声を聴取し、市民参加の市政を推進します。また、市民の声を集約し、傾向等を分析して市政への反映に資する情報として取りまとめるとともに、広聴事業の周知に努めます。

市の強みや優位性を魅力と捉えて市民を巻き込んだ市内外への発信を行うとともに、市民等の地域への愛着醸成を図る取組を実施します。

(1) 市長・副市長の日程調整等秘書業務を行います。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和4年度	令和3年度	説明	概要掲載ページ
1		秘書事務事業 〔秘書課〕	9,708 (9,708)	10,616 (10,616)	市長・副市長のトップマネジメントをサポートし、随行業務・日程管理等を効率的に実施	63
2		表彰事業 〔秘書課〕	3,500 (3,500)	3,950 (3,950)	市政の振興発展に尽力いただき、顕著な功績のあった方々を表彰	63
3		市長交際費 〔秘書課〕	2,000 (2,000)	2,000 (2,000)	市長が市を代表して行う外部との交渉に要する経費	63

(2) 市への信頼感・共有感の向上を図る情報発信を行います。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和4年度	令和3年度	説明	概要掲載ページ
4		市報さいたまの発行 〔広報課〕	232,217 (214,379)	227,403 (214,577)	市の施策や行事等の市政情報を掲載する広報紙を編集し、毎月1日に発行して、全世帯に配布	63
5		市公式ホームページの運用 〔広報課〕	13,405 (11,425)	13,405 (11,205)	ホームページで市の施策や事業に関する情報等を発信	63
6		テレビ広報番組の制作 〔広報課〕	27,720 (27,720)	27,720 (27,720)	テレビ広報番組「のびのびシティさいたま市」を制作し、テレビ埼玉で放送するとともに、過去放送分をインターネットで映像配信	63
7	総振	出前講座の推進 〔広報課〕	198 (198)	198 (198)	市民が開催する集会等に市職員が出向き市の施策等について説明する出前講座を推進	63
8		定例記者会見の情報発信 〔広報課〕	5,799 (5,799)	5,799 (5,799)	市長の定例記者会見をインターネットで動画配信	63

[区分]新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業

(3) 市政への反映に資する情報として、市民ニーズの的確な把握に努めます。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和4年度	令和3年度	説明	概要掲載ページ
9	総振	市民の声データベースシステムの運用 〔広聴課〕	33,663 (33,663)	33,410 (33,410)	市に寄せられる市民の声を集約して庁内で共有し、対応の迅速化や見える化を進めるとともに、その傾向等を分析し、市政への反映に資する情報として提供	64
10	総振	タウンミーティングの開催 〔広聴課〕	1,242 (1,242)	1,188 (1,188)	市民と市長が直接対話する機会として開催。参加者は公募に加え、無作為抽出の手法を取り入れた「市民の声モニター制度」を活用	64
11	総振	市民意識調査の実施 〔広聴課〕	7,055 (7,055)	7,017 (7,017)	市政に関する市民意識を把握し、施策の立案・実施等の基礎資料として活用するため、郵送及びインターネットによるアンケート調査を実施	64
12		コールセンター運営事業 〔広聴課〕	107,823 (107,823)	107,836 (107,836)	市民サービスの向上を図るため、本庁及び区役所代表電話を含めた市民からの電話、FAX及び電子メールによる問合せに対する回答や所管課への取次ぎ等を行うさいたまコールセンターの運営管理	64

(4) 都市イメージの向上を図るとともに、市民等の地域への愛着醸成を図ります。

*()内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	令和4年度	令和3年度	説明	概要掲載ページ
13	総振	訪問意向形成事業 〔シティセールス推進課〕	3,696 (3,696)	0 (0)	訪問意向を形成するため、本市の魅力ある取組やイベント、観光スポットなど訪問・交流人口の増加につながる情報を発信	65
14	総振	定住意向形成事業 〔シティセールス推進課〕	2,892 (2,892)	12,034 (12,034)	定住意向を形成するため、転入を考えている方等に向けて、本市の情報を発信	65
15	拡大	愛着醸成事業 〔シティセールス推進課〕	14,321 (14,321)	3,145 (3,145)	地域への愛着・誇りの醸成を図るため、市内外に本市の魅力を発信するウェブサイトの構築を行うとともに、市民を巻き込んだ情報発信やPRキャラクター「つなが竜ヌウ」の活用を促進	65
16	総振	全庁のシティセールス力向上事業 〔シティセールス推進課〕	2,306 (2,306)	3,288 (3,288)	市全体のシティセールス力の向上を図るため全庁の職員に対しシティセールスのノウハウの共有化を推進	65

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画実施計画事業

3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容	コスト削減額
秘書課	名刺の印刷製本費の見直し	過去の実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 112
秘書課	秘書業務用端末機器の見直し	秘書業務用端末機器をスマートフォン・タブレット等に見直し、利便性の向上・紙削減を図るとともに、予算額を縮小する。	△ 705
広報課	広報素材(写真・イラスト・動画・音楽データ等)購入費の見直し	過去の実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 165
広聴課	わたしの提案に係る封筒の印刷製本費の見直し	過去の実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 5
広聴課	タウンミーティング参加者募集チラシの印刷製本費の見直し	過去の実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 13
広聴課	わたしの提案の返送に係る郵便料の見直し	過去の実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 44
広聴課	市民意識調査に係る委託料の見直し	調査報告書の配付を紙から電子媒体の活用に見直すことで印刷部数を削減し、予算額を縮小する。	△ 176
広聴課	コールセンターPRチラシの印刷製本費の見直し	過去の実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 13
シティセールス推進課	旅費の見直し	過去の実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 414
シティセールス推進課	消耗品費の見直し	過去の実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 430
シティセールス推進課	又ウ着ぐるみ修繕料の見直し	過去の実績を踏まえた見直しにより、予算額を縮小する。	△ 262
シティセールス推進課	広告料の見直し	事業内容の見直しにより、予算額を縮小する。	△ 1,408
シティセールス推進課	外部研修参加費の見直し	過去の実績に基づき、予算額を縮小する。	△ 159
シティセールス推進課	冊子作成に係る委託料の見直し	グラフ誌版広報誌「楽楽楽さいたま」、転入者向けガイドブック「さいたま市はじめてブック」及び転入検討者向けリーフレット「さいたま市に住もう」の3誌を新たな魅力発信情報誌として統合し、予算額を縮小する。	△ 1,230

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 秘書事務事業		予算額	15,208
局/部/課	市長公室/秘書課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/1目 一般管理費	予算書P. 85	- 一般財源 15,208
<事業の目的・内容> 市長・副市長の日程の調整を中心とした秘書業務を行うとともに、市長が市を代表して行う活動の支援を行います。また、市政の振興発展に尽力いただき、顕著な功績のあった方々に対する表彰を行います。		前年度予算額	16,566
		増減	△ 1,358
<主な事業> 1 秘書事務事業 9,708 市長・副市長のトップマネジメントをサポートし、随行業務及び日程管理等を効率的に行うとともに、意思表示に必要な情報を適切に管理します。			
2 表彰事業 3,500 市政の振興発展に尽力いただき、顕著な功績のあった方々に対して表彰を行います。			
3 市長交際費 2,000 市政の円滑な運営を図るため、市長が市を代表して行う外部との交渉に要する経費として支出します。			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 広報事業		予算額	289,867
局/部/課	市長公室/広報課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	予算書P. 89	18款 国庫支出金 3,444
<事業の目的・内容> 広報紙「市報さいたま」、市公式ホームページ、テレビ広報番組をはじめとした様々な広報媒体や手法を活用して、市民に分かりやすく、効果的に情報発信をします。また、「さいたま市PRマスタープラン」に基づき、戦略的な広報活動を行い、施策や事業に対する市民の関心・共感を高めます。		19款 県支出金 1,722	20款 財産収入 524
			24款 諸収入 19,533
			- 一般財源 264,644
		前年度予算額	291,280
		増減	△ 1,413
<主な事業> 1 市報さいたまの発行 232,217 市の施策や行事等の市政情報を掲載する広報紙を編集し、毎月1日に発行して、全世帯に配布します。			
4 出前講座の推進 198 市民が開催する集會等に市職員が出向き市の施策等について説明する出前講座を推進します。 [総振：52-1-1-01]			
2 市公式ホームページの運用 13,405 ホームページで市の施策や事業に関する情報等を発信します。			
5 定例記者会見の情報発信 5,799 市長の記者会見について広く市民などの視聴に供するため、インターネットによるライブ中継・録画配信等を行います。			
3 テレビ広報番組の制作 27,720 テレビ広報番組「のびのびシティ さいたま市」を制作し、テレビ埼玉で放送するとともに、過去放送分をインターネットで映像配信します。			
6 広報事業その他 10,528 FMラジオ、SNS等の各種媒体の活用により、市政情報や市の魅力等の発信とその活性化を行います。 [総振：52-1-1-01、52-1-1-02]			

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 広聴事業		予算額	42,775
局/部/課	市長公室/広聴課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	予算書P. 89	- 一般財源 42,775
<事業の目的・内容> 広く市民の声を聴取し、市民参加の市政を推進するために、市長への提案制度、タウンミーティング、市民意識調査、パブリック・コメントなどの広聴事業を行います。		前年度予算額 42,479 増減 296	
<主な事業> 1 市民の声データベースシステムの運用 33,663 市に寄せられる市民の声を集約して庁内で共有し、対応の迅速化や見える化を進めるとともに、その傾向等を分析し、市政への反映に資する情報として提供します。 [総振：52-1-1-03]		4 市民意識調査の実施 7,055 市政に関する市民意識を把握し、施策の立案・実施等の基礎資料として活用するため、郵送及びインターネットによるアンケート調査を行います。 [総振：52-1-1-03]	
2 タウンミーティングの開催 1,242 市民と市長が直接対話する機会として開催します。参加者は公募に加え、無作為抽出の手法を取り入れた「市民の声モニター」制度を活用します。 [総振：52-1-1-03]		5 パブリック・コメント手続の支援 135 パブリック・コメント制度に基づく意見を提出しやすくするための専用封筒を作成及び配置します。また、制度に対する職員の理解を深めるための研修を実施します。 [総振：52-1-1-03]	
3 市長への提案制度の実施 455 市民意見を市政へ反映するため、公共施設等に配置した専用封筒、FAX及びWeb投稿により市民から市政に対する意見・要望等を聴取し、傾向を把握します。 [総振：52-1-1-03]		6 子どもからの意見募集 225 子どもの意見を市政へ反映するため、市内の中学校に配置した専用封筒により、子どもたちから「テーマ」に沿った意見を募集します。 [総振：52-1-1-03]	

(一般会計)

(単位：千円)

事務事業名 コールセンター運営事業		予算額	107,823
局/部/課	市長公室/広聴課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	予算書P. 89	- 一般財源 107,823
<事業の目的・内容> 本庁及び区代表電話を含めた市民からの問合せ等に対して1つの窓口で迅速かつ責任ある対応を行うとともに、市政への要望等を的確に把握し、市民サービスの向上を図ることを目的としたさいたまコールセンターを運営します。		前年度予算額 107,836 増減 △ 13	
<主な事業> 1 さいたまコールセンターの運営 107,673 市民サービスの向上を図るため、本庁及び区役所代表電話を含めた市民からの電話、FAX及び電子メールによる問合せに対する回答や所管課への取次ぎ等を行うさいたまコールセンターの運営管理を行います。		[参考] 【開設時間等】 年中無休 電話 8時～21時受付・対応 FAX・電子メール 24時間受付（対応は8時～21時）	
2 さいたまコールセンターの周知 150 市民周知のためのチラシ等を作成及び配置します。			

事務事業名 都市イメージ向上事業		予算額	23,215
局/部/課	市長公室/シティセールス推進課	〔財源内訳〕	
款/項/目	2款 総務費/1項 総務管理費/6目 広報広聴費	予算書P. 89	- 一般財源 23,215
<p><事業の目的・内容></p> <p>環境、健康・スポーツ、教育での強みや交通の要衝等の地理的優位性、特色ある地域文化資源等を生かし、都市イメージの向上を図ることができるよう、市内外へ市の強みや優位性を魅力と捉えて市民を巻き込み発信します。また、市民等の地域への愛着醸成を図ることができるよう取り組みます。</p> <p><特記事項></p> <p>「東京2020大会を活用した市の魅力発信事業」及び「さいたま市誕生20周年事業」が終了しました。</p> <p><主な事業></p>		<p>前年度予算額 100,122</p> <p>増減 △ 76,907</p>	
1 訪問意向形成事業	3,696	4 全庁のシティセールス力向上事業	2,306
<p>訪問意向を形成するため、訪問・交流人口の増加につながるイベント情報等の発信や、市内外から来訪者が多く集まる駅などで、本市の情報発信を行います。</p> <p>[総振：52-6-1-02]</p>		<p>市全体のシティセールス力の向上を図るため、全庁の職員に対しシティセールスのノウハウの共有化を進めます。</p> <p>[総振：52-6-1-01]</p>	
2 定住意向形成事業	2,892		
<p>定住意向を形成するため、転入を考えている方等に向けて、本市の情報発信を行います。</p> <p>[総振：52-6-1-02]</p>			
3 愛着醸成事業	14,321		
<p>地域への愛着・誇りの醸成を図るため、市内外に本市の魅力を発信するウェブサイトの構築を行うとともに、市民を巻き込んだ情報発信やPRキャラクター「つなが竜ヌウ」の利活用を促進します。</p>			